

番号	31 - 12	申請者	感染管理認定看護師 末永 慎
<p><b>【審査申請課題】</b>  薬剤耐性研究センター耐性菌ナショナル・サーベイランス「血液由来黄色ブドウ球菌の病原性解析と臨床応用に関する研究(JARBS-SA)」</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b>  黄色ブドウ球菌は、様々な感染症を引き起こす临床上重要な細菌であるが、その病原性には多様性がある。特にMRSAは市中感染型と医療施設関連型に大別され、近年では侵襲性感染症から分離される市中感染型MRSA株が増加傾向にあると言われている。しかし、日本においてどのような株が侵襲性感染症を引き起こしているのか、それらがどのような病原因子を保有しているかはよくわかっていない。本研究では血液培養から分離された黄色ブドウ球菌緒ゲノム解析を行い、同時に臨床情報も収集することでどのような遺伝子学的特徴を持った株が侵襲性感染症を引き起こしているのかを明らかにすること、日本で流行している特有の株(クローン)の特徴を把握することを目的としている。これにより同定した遺伝子学的特徴から、いち早く高病原性黄色ブドウ球菌(MRSAも含む)を検出することで臨床現場に役立つ情報が得られると考えられる。</p>			
審査結果	承認 ( 令和1年8月9日 )		